

平成28年度 事業報告

サービスセンター・相談支援事業所『くればす』

1. 在宅支援サービス

(居宅介護、重度訪問介護、行動援護、同行援護、移動支援等)

【1】実施事業と対象者

鹿児島市在住の障害児(者)の在宅生活の支援を目的に居宅介護(身体介護・通院等介助)、重度訪問介護、行動援護、同行援護、移動支援等を実施。

【2】平成28年度の反省と課題より

平成28年度の在宅支援(居宅介護等)サービスは、昨年度同様に相談支援関連事業等(スタッフ異動後の人員配置、兼務体制の課題等)の影響により、サービス提供可能な時間が減少傾向にある中で、目標とした月平均350時間を大きく下回る月平均275時間程度の利用実績となった。ゆかり学園の業務との兼務の兼ね合いで、サポートスタッフの調整が更に困難になった(H28.10月以降、スタッフの兼務割合が変更となった)影響もあり、年間のサービス件数・時間が前年度と比較すると、総件数では242件の減、総時間数では762時間50分の減となった。また、相談業務に必要な時間や新規事業の立上げ準備にかかる時間等の確保が必要になっていることも影響している。サービス提供に伴う大きな事故等なく実施できたことは良かった。今後も利用者の安全を第一にサービスの提供にあたりたい。

今後は地域移行の推進や社会生活力の向上等、多様なニーズをもって利用希望される方が増えることが予想される。様々なケースを想定して職員がスキルアップをしていく必要がある。研修の機会を活用し、多様なニーズに応えられるようにしたい。

【3】基本情報～サービスセンター『くればす』利用状況～ (単位:名)

平成 28年度	合計 (前年度比)	男性 (前年度比)	女性 (前年度比)	男児 (前年度比)	女児 (前年度比)
身体介護	3	0	1	0	2
重度訪問	1	0	1	0	0
行動援護	7 (-1)	2	2	3	0 (-1)
同行援護	2	0	1	1	0
移動支援	9	3	3	1	2
合計	22 (-1)	5	7	5	4 (-1)

【4】職員体制

常勤兼務 9名（内 サポートスタッフ4名） パート 1名（平成29年1月～）

【5】監査結果

サービスセンター『くればす』（居宅介護、重度訪問介護、行動援護、同行援護）

平成28年11月10日（木）実施

文書指摘 0件 口頭指摘 0件

2. 相談支援サービス

（一般相談支援、特定相談支援、児童（障害児）相談支援）

【1】実施事業と対象者

鹿児島市在住の障害児（者）及び保護者等からの相談（一般相談支援、特定相談支援、児童相談支援）に応じながら、を地域の方や関係機関との連携等を図っていく。計画作成、電話・訪問・同行・来所等による相談を実施。

【2】平成28年度の反省と課題より

平成28年度の相談支援の実績としては、計画及びモニタリング作成の月平均は約31.4（前年度：約33.5）件/月となっている。法人利用者が135人、全体数では212人（昨年度比較－15人）となっている。さらに計画作成予定の方も数名控えている状況である。相談内容としては、「計画作成依頼」、「福祉サービスの利用についての相談」、「本人の不安の解消」、「情緒安定」に関するが多かった。

現状として3人の相談支援専門員（兼務）が、協力スタッフと連携を図りながら、210名以上の計画相談を行っている。相談支援専門員（常勤兼務）の兼務条件（生活担当業務、各係等）を見直して体制を整えていく必要性を感じているが、法人全体の人員配置上困難な状況が続いている。更なる業務の効率化（すべきことの明確化）を図りながら相談支援体制を法人全体で考えていく取り組みを検討する必要性を感じている。

平成29年度は、9月以降より地域生活支援拠点における相談支援業務拡大が予定している。安心コールセンター機能における緊急時の受入れ及び地域移行支援として体験の場を調整するコーディネーター業務を地域の中で中心となり担っていくことになる。行政や地域の各関係機関等とつながり合いながら、個別のケースや地域課題と向き合っていく大切な業務である。検討会議を繰り返して準備をしていきたい。

児童から成人、障害の種別、幅広い年齢層等、対象者も拡大している。より高い専門性で様々なケースに対応出来る相談支援体制の整備が必要である。役割分担をして効率的な相談支援サービスを提供できるように整えていきたい。

【3】基本情報～相談支援事業所『くればす』利用状況～

平成 28年度	全体 利用者（前年度比）	法人内サービス 利用者（前年度比）	その他 利用者（前年度比）
特定相談	179（-10）名	135（+1）名	44（-11）名
児童相談	33（-5）名	5（-3）名	28（-2）名
合計	212（-15）名	140（-2）名	72（-13）名

※平成29年3月時点の利用者数（初回の計画請求まで至った利用者総数）

【4】職員体制

常勤兼務 3名

【5】監査結果

相談支援事業所『くればす』（一般相談支援、特定相談支援、障害児相談支援）

平成28年11月25日（金）実施

文書指摘 2件 口頭指摘 2件

3. 研修状況（サービスセンター・相談支援事業所『くればす』スタッフ参加分）

期日	研修会	参加
平成28年7月11日	市集団指導	2名
7月15日	社会福祉法人制度改革対応セミナー	1名
9月15～16日	相談支援従事者初任者研修（前期）	1名
9月14日	市倫理法人会 モーニングセミナー	1名
10月4～5日	九州施設長研究会	1名
10月10日	発達障害地域支援専門員養成講座 フォローアップ研修	1名
10月11～12日	強度行動障害支援者養成研修（基礎）	1名
10月19～21日	相談支援従事者初任者研修（後期）	1名
10月11～12日	強度行動障害支援者養成研修（実践）	1名
12月13～15日	相談支援従事者現任研修	1名
平成29年3月11日	九弁連シンポジウム～福祉現場のトラブル～	1名

※その他、法人内部研修『行動障害のある人の生活を支えるために』を、学園の研修係と協働で事務局として企画・実施（参加）した。（年4回 [4・6・9・11月] 実施）